

# アジア・ワイドの成長力強化

平成21年3月25日

二階議員提出資料

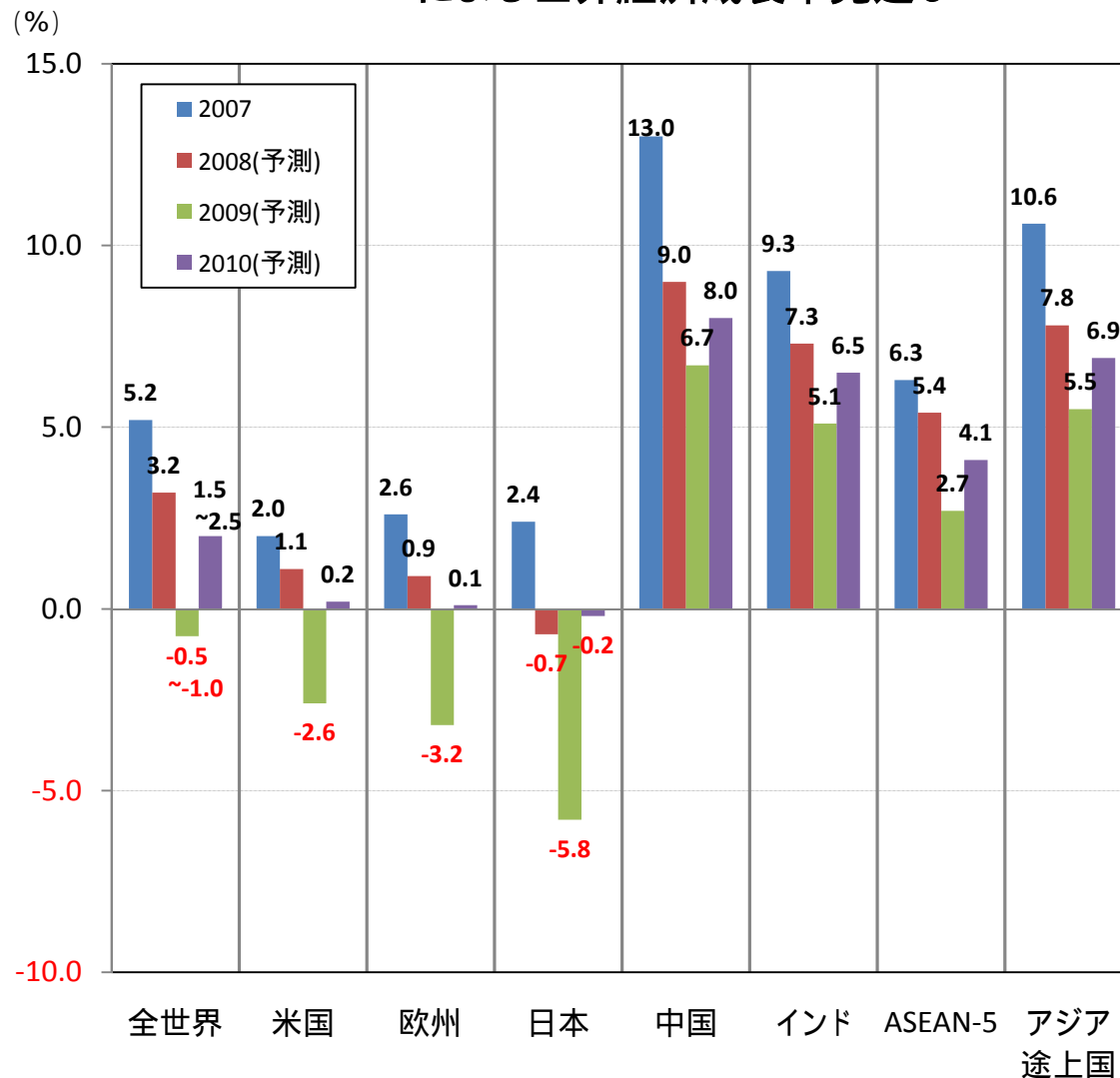
# 1. 基本的考え方

アジアは「21世紀の成長センター」。そのアジアの中に我が国が位置しているという強みを活用。

現下の世界的な金融・経済危機の中、アジアの金融市場や実体経済への影響が顕在化。

「世界の成長センター」としてアジアの成長を実現するため、金融危機に協力して対応すると同時に、「アジアの成長力強化と内需拡大」に取り組むことが不可欠。

### IMFによる世界経済成長率見通し



(注) 全世界、米国、欧州、日本の数値は、3月19日発表の速報値。  
その他の数値は、速報が発表されていないため、1月28日発表の数値。

## 2. 具体的対応策

### 1. 世界的な金融危機に協力して対応

#### (1) 地域金融協力や各国の金融システムの強化

- チェンマイ・イニシアティブのマルチ化及び規模拡大、金融セクター改革等

#### (2) 国際金融機関等と協調した途上国支援の促進

- ADBの増資等国际金融機関の貸出能力の強化

#### (3) 金融危機の影響を受けやすいセクターへの支援

- 農業・農村支援、セーフティ・ネット整備等

### 2. アジアの成長力強化と内需拡大に向けた取組

#### (1) 各国における取組

- 基礎インフラ整備の推進、内需拡大のための構造改革・消費の活性化、中小企業支援、人材育成、制度整備(知的財産権保護法制の整備等)

#### (2) 地域協力の推進

- **ERIA(東アジア・アセアン経済研究センター)を活用しつつ、ODAや官民連携等により広域開発を促進**
- ASEAN統合の推進
- 貿易保険のネットワークの整備など貿易・投資の円滑化
- 人的交流の促進
- 持続的成長を可能にする、アジアの低炭素化、省エネ化、資源循環、公害防止等の推進
- 知識経済化の推進

# (参考) ERIA及び広域インフラの整備について

【東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)】

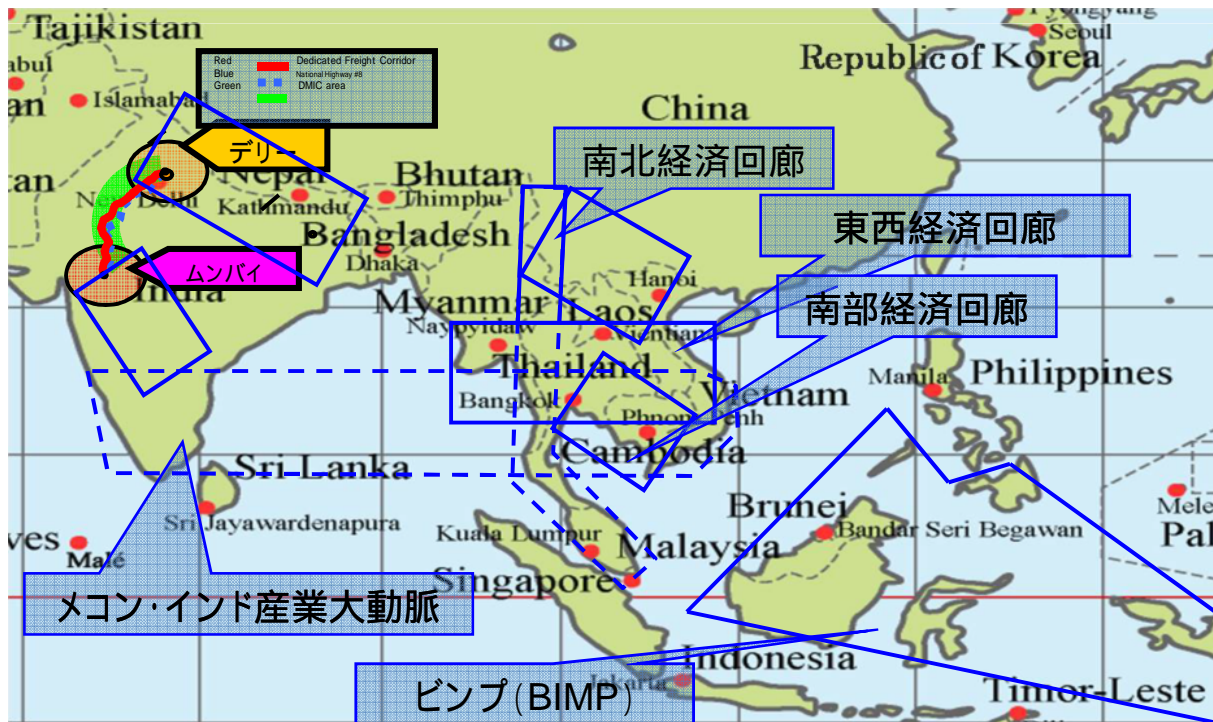


昨年6月、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)が発足。

参加16カ国: ASEAN10カ国、日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド

「経済統合の深化」、「発展格差の縮小」、「持続可能な経済成長」の3つのテーマについて、東アジアサミット等へ政策提言。

【広域インフラの整備】



【デリー・ムンバイ間産業大動脈構想】

デリーとムンバイの間に貨物専用鉄道・道路を敷設し、これに沿って工業団地、物流基地、発電所などのインフラを整備し、一大産業地域とする日印共同の構想。

総額900億ドル規模のうち、700億ドル規模(300プロジェクト程度)を民間投資を活用して整備する計画。

主要都市と主要幹線道路・鉄道

